

警城時報

福島縣石城郡平町掛屋町十四
編輯長 石城 田中 弘成
印刷所 石城郡平町掛屋町十四
電話 二四三
代印所 石城郡平町掛屋町十四
電話 二四三
一、部金 二、部金 三、部金 四、部金
廣告料 一行 四、部金 二、部金
日刊（日曜、祭日）休刊

三名の少年強盗組 活動寫真そのの 犯行

運轉手を短刀で脅迫 藤原、小名濱、泉で強盗、追迫

去る八月六日午後八時半頃東京更に十一日残りの一名も手配中
市麴町區土手三番町石井自動車の水戸署に於て逮捕したといふ
部の乗合自動車に東京澁谷驛か報に接し十二日午前十一時平署
ら三名の若者が乗り込み、府下青田刑事部長は犯人引取のため
佐々木に向ふ途中乗客三名はし、水戸に向つたが、この少年組の
めし合せて運轉中の運轉手石澤強盗、追迫、脅迫の大膽なる犯
完一（二）を短刀で脅迫し所持行は活動寫真そのの活劇で
金を強奪して逃走した犯人あり一番先きに捕はれた一名は活動
警視廳で捜索の結果三名は石城寫真を見て思ひついたと言つて
地方に入り込んだ形跡があるの由で、何れにしても平地方
で平、植田兩署に於て手配中九に於て近來の大事件であつた。

農會技術員會 本年の稲作況 平年作は大丈夫

二百十日以後の天候良好の爲 郡駐在神尾技師調査

石城郡に於ける本年度稲作状況被害相當多しその被害面積約六
は屢々報導した如く七月下旬頃百町に達した状況で、作況甚だ
は天候が一般に曇天或は雨天勝 悲觀すべき材料が多かつたが、
もて気温低く灌漑水は充分であつた用ひて九月に入り懸念して
つたが分葉少く少く被害を蒙つた二百十日は快晴でその後暑
豫想され更に八月中旬に於ては氣加はり晴天繼續せるため生育
土用中なるにも拘はらず降雨が状況良好で出穂は中晩生共一週
れ某（十七）を小名濱町で捕へ、多量で気温低く稻熱病に感染も
復し更に二百二十日の天候も良
好であつたためこの分では平年
作は大丈夫であらうと。

水中に飛び込んだ男 浮き上らぬ男 隠れ岩に頭を打ちつけ 即死

安達郡瀧澤村生れ當時内郷村大の二町三ヶ村に灌漑する鮫川堰傳に努める等、又當日は赤井
字宮字平太郎警視廳長屋居住復活の改修工事に關し縣會議員職の祭日であるため同方面に於
キン私生兒内郷第二小學校五年鈴木辰三郎、野崎滿藏の兩氏ははても宣傳する方針である。
生三村政夫（十一）は九日午後一
時頃學校友達四五名と共に同村
大字宮字峯根の溜池に於て水泳
中六尺の崖から水中に飛び込ん
だ際水中の石に頭部を打ちつけ
そのまゝ浮き上らないので捜索
の結果水底、死体となつてゐる
のを發見した。

平自營會で 免囚保護の大宣傳

十三日は詔勅發布記念日 自動車でビラ撒布

明十三日は、明治大帝御大喪の千枚を印刷し平區裁判所管内石
日で慰教詔勅が發布され司法部保城、双葉兩郡の各町村役場及び
護事業上の記念すべき日である。平自營會等は配布し尚ほ平町、四倉
全國一齊に免囚保護の大宣傳を
行つて来たが、平自營會では中
央保護機關である輔成會から寄
贈された左の如き意味を記載し
た宣傳ポスター數百枚の外本年
度に募集した釋放者保護標語四

赤井嶽に 醫師派遣

明十三日は赤井嶽常福寺の祭
典であるが、鐵道當局でも平
赤井間臨時列車を運轉する程
で入出を豫想されるため平警
署からは片寄警部補以下十
名の警官出張取締りをなす等
である。尚ほ日本赤十字社支
部では大森醫師外看護婦三名
を救護のため出張せしむる事
になつた。

近頃の米價について 値上げ不當論者に與ふ

近頃一部の人は期正米追隨
は甚だ失當、僅か一ヶ月で五
錢騰貴の言句を連ねて白米
値上の非を鳴らして居る者が
ある。都市民は此れを見て理
由なく共鳴した事を豫斷する
に難くない、然し一度農民が
此れを見て如何なる感に打た
れるか、自分は農民の一員と
して此れに反駁したい点が多
多あるのである。

復活陳情 鮫川堰の

鮫川堰、警視、小名濱、泉、渡邊

吉田記者榮轉

新報平支局記者吉田久氏は今回
宮城縣古川支局長に榮轉し來る
二十日頃赴任する。

尼子自動車 車掌を轢く

十一日午後十一時半頃平町二丁
目尼子自動車部の乗合自動車を
平町鎌田町三九番地古川勇（二
一）が轢き三丁目を進行中通
行人ある茨城縣東茨城郡酒門
村水戸驛車掌矢口常松（四〇）を
轢き後頭部に長さ四寸深き骨膜
に達する重傷を負はせ金成醫院
で手當中である、平署から係官
出張の上過失傷害罪として古川
勇を檢事局に送つた。

より買ひ米は唯採れなければ
ならぬ等である、然るに如何
田に一定の資本が要る、又耕
作には人夫が要る、肥料も要
る、諸税もかかる、右を考慮
すれば目下の米の相場は決し
て高いものではない。
左に一例として一反歩の收支
を計算して參考に供する事に
する。

▲田 購入費利子 八〇圓
▲肥料 豆カス三枚、カリン
酸二枚 六圓六十錢
▲人夫（耕作より刈込迄）
三十五圓
▲税（最少限度）五圓
計百二十八圓五十錢也
右の如き割合の田で米が如何
程取れるか云ふと四畝（八
俵）である。（つゞく）

江名自動車 人を轢く

江名町字仲の作吉田廣吉所有ト
ラック自動車に十日魚類を積載
し運轉手菅野福隆が運轉郡山市
の魚市場に向ふ途中中田村郡守山
町地内縣道で通行中の同村慶三
郎妻大和田キヨノ(四〇)を轢き
倒し脚及び足に重傷を負はせた
キヨノは生命危篤である。

下野家不幸 好間村古

河炭礦々業所長下野十郎氏三女
眞佐子嬢(一〇)は病氣加療中去
る八日死亡し十日午後三時から
古河炭礦社宅で告別式を行つた

時報文藝

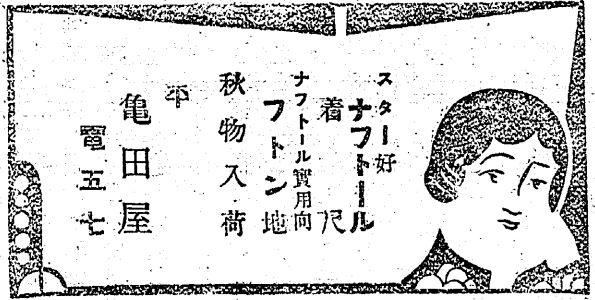
僕の古詩記から(一)

▲すみれ
ほのかな戀をふくんだ風が
そつと横顔をなで去つた
黒いびんのほつれ
二條
三條
やわらかい微笑みが
そのほつれ毛の中を
見え隠れに飛んでゆく
つゝまじやかな瞳の光り
紅いもろ顔の輝き

「So sweet」
お兄さまのお友達よ」
めぐみ多い陽をあびて
親しき友に語る初恋
「So sweet」
やさしいお方なの」
夢を語る
可愛いくちびる
瑠璃色の空
いぢむも、咲きもた
すみれ可愛く咲いた
ほのかな戀をふくんだ風に

ハガキ集

しほらしい微笑みを
ほころばした。
▲四倉警察署に於ては時々平巡
査と署長の口論がある。例を
上げると、郡山署に行つた武
山巡査、高田署に行つた會計
阿久津巡査、平署に行つた猪
狩刑事、現在署の江尻巡査、
等の外まだ、あるとの話、
巡査と署長のケンカは誰が取
締るのだらう。(開きたい生)



スタフ好
ナフトル
着
ナフトル實用尺
フットン地
秋物入荷
平
亀田屋
電話五七

▲四倉小學校の八代(ヤ)先生と
全校の長谷川(ハ)女教員は、
大びらに日曜日を利用して平
町方面を中心として密會を重ね
て居る事は尋常二學年生以
上の生徒は知らないものはな
い。先生二人の顔を見とハ
先生とヤ先生は口に出す
程アツクある、殊にヤ先生
生の宿直にはかならずハ先
生は人目をしのんで途びに行
くと云ふ話、同校の校長先生
は尋常下層の生徒の言ふに
ハ先生少くは教育指導の責任
ある上は生徒の前や町民の前
を憚れ。(注意生)

淋病、消渴に奇妙に良くきく

濟 淋

特價(八日分)一・五〇
十六日分二・八〇
効力偉大なること、胃腸を害することなきは既に試用者各
位の定評なり。病める方よ、一時も早く試用され病苦を
去られよ。
平町研町(公園下)
製藥發賣元 水野藥局

スポンギン

美味にして
強壯の効
著大
血を
ふやし
肉を
肥やす
本舖 倉屋長命堂
錠 價 定 酒 價 定
二 價 定 酒 價 定
店 理 代
角 目 丁 五 町 平
局 藥 邊 野 山

セメント

壁用材料
コールター
ペンキ塗料
板ガラス
警城セメント株式会社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目
電話三番

靴とカバンは

福山に限る
平町役場前 福山支店

教授

裁縫 奥田式及び水引細工
華道 古遠州生花、小原流盛花
茶の湯 裏千家
平町白銀町(平劇場前)
高橋光春
電話六三八番

鳥御料理

蒲焼
平町南町平館隣り
電話四二四番

共済

榮共ト存共△
融金ノ易簡△
蓄貯ノ味趣△
堅ト意誠△
會商 壽 無 城 塔
内 關 △
リテ所扱取-所ル至 △
イサ下込申モテ時何 △
スマリ業ヲ營メズ絶 △

御期待の名篇 大空 壯血 涙悲 壯

さば

◆下殿宮各◆首元帝皇國各◆榮覽臺天御賜◆
パラマウント社本年度超特作映畫
◆出演者◆クララ・ボリリ嬢
チャールス・ロジャース氏
陸軍省 海軍省 文部省 推賞激讚
全篇悉く熱と力もて貫れ、血と涙もて彩らる
る一大字、退れを見ずして何人か途に映畫を
語るを許されん……一死國難に殉ずる熱血男
兒、戀をいけに奮闘する美少女、戰禍を
地上より拂わんとする偉大……精神賑々たる
大傑作……巨史
◆報知新聞連載……吉川英治原作
◆三 江戸三國志
◆全國協定打破 特別普通
十三日より 土日
高設 館 電 四
常 館 電 六

優良なる

汽車印 庄腦油

殺菌防臭の効絶大なり
代理店 關内藥局
平町四丁目(電話四〇番)

赤心堂病院

外科一般、耳鼻科、花柳病科
婦人科、産科、婦人科
内科、X光線科
平町字田町(電話四七五番)